

< 農業生産法人、集落営農組織の育成に取り組む事例 >

## 集落と集落営農組織の連携

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	あぶぐん あぶちよう きよ 山口県阿武郡阿武町 木与				
協定面積 18.5ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地	
	水稻、麦、野菜				
交付金額 285万円	個人配分			25%	
	共同取組活動 (75%)	役員報酬			5%
		水路・農地維持管理費			9%
		景観作物作付費			4%
		鳥獣害防止対策費			16%
農業機械取得費			26%		
その他			15%		
協定参加者	農業者 27人、農事組合法人木与なぎさファーム (構成員51人) 非農業者 9人			開始：平成22年度	
人・農地プランの作成状況	作成していない (作成中)				

### 2. 取組に至る経緯

木与地区は、国営土地改良事業により整備された圃場で水稻を中心とした経営を行ってきた。しかし、農業従事者の高齢化は年々進み、後継者不足の中で農地の維持管理や農業生産への不安があったため、集落協定の締結を契機に、農作業の共同化、農業機械の共同購入の取組み等により、集落の合意形成を図りながら、コストの引き下げに努め、耕作放棄地を発生させない保全活動を行い、自然豊かな地域で自立できる農業経営を進めている。

### 3. 取組の内容

第3期対策の平成23年度に「農事組合法人木与なぎさファーム」を設立 (経営面積：18.9ha) し、水稻、麦を中心とした取組みを行っている。木与地区内の大部分の農地を法人へ集積し、耕作放棄地の解消と農地の有効活用に努め、自立できる法人経営を目指して、集落と連携した活動に積極的に取り組んでいる。

また集落の景観形成として、棚田への芝桜の植栽など、農地の保全活動を行い地域の美化に努めている。



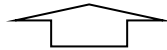
【棚田の様子】



【棚田芝桜植栽の様子】

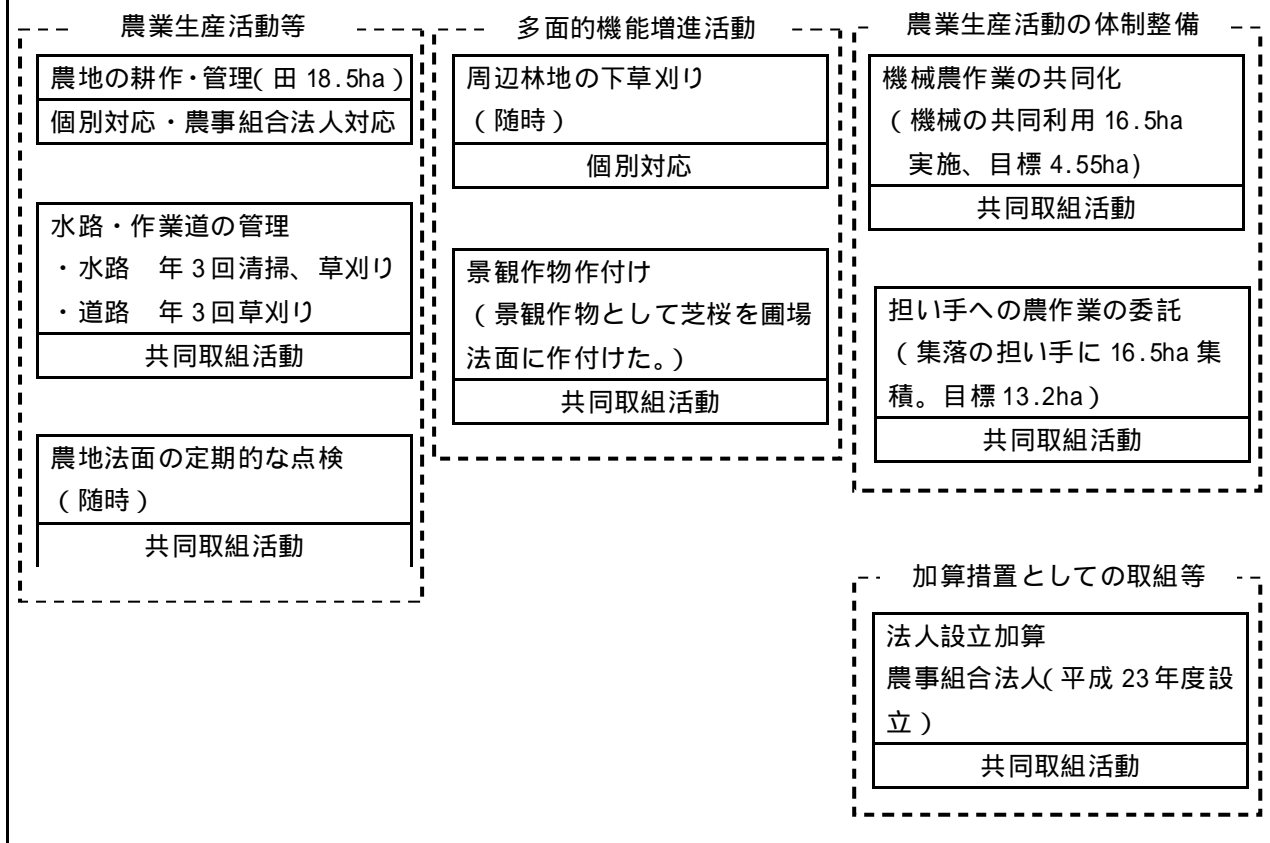
[ 集落の将来像 ]

地区内の農事組合法人を核とした農業生産活動等を、より一層推し進める事により地域と連携した実状に即した持続的農業生産活動等を構築する。



[ 将来像を実現するための活動目標 ]

機械・農作業の共同化等営農組織の育成  
担い手への農作業の委託



4 . 今後の課題等

水稲を中心としながら、消費者ニーズに対応した用途別生産や時流にあった品目を選択し有機栽培などにより高付加価値作物を生産することで、法人の収益増を図り、法人経営を安定させる。また機械化を促進することで、同時に省力・低コスト生産を進めていく。

[ 第 2 期対策の主な成果 ]

水路・農道の管理  
鳥獣被害防止対策  
担い手への農作業の委託